

第 10 回信濃美術館整備委員会 議事録

○開催日時 令和 3 年 3 月 11 日（木） 13：55 ～14：40

○場 所 長野県立美術館地下 1 階 ホール

○出席者

委 員 荻原委員、中平委員、樋口委員、福島委員、松本委員、山浦委員、
若麻績委員、渡辺委員（欠席：竹内委員長、北村委員、小坂委員、
近藤委員、佐野委員、野原委員、橋本委員）

長 野 県 阿部知事、増田県民文化部長、加藤文化政策課長、日向信濃美術館整備
室長、久保田施設課企画幹、細野信濃美術館整備室課長補佐

設 計 者 ㈱プランツアソシエイツ 代表取締役 宮崎浩氏

1 開 会

（細野信濃美術館整備室課長補佐）

ただいまから、第 10 回信濃美術館整備委員会を開催いたします。本日の進行を務めます信濃美術館整備室の細野です。どうぞよろしくお願ひします。

なお、本日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発出されている地域にお住いの皆さんの参集は控えさせていただきましたので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

はじめに、長野県知事阿部守一よりご挨拶を申し上げます。

2 知事挨拶

（阿部知事）

信濃美術館整備委員会の委員の皆様には約 4 年にわたるたいへん長い間のご指導を賜り、また本日も大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

私も、先ほど館内を宮崎様にご案内いただき、拝見させていただきましたが、我々が期待していた以上のすばらしい建築物、そして周囲の景観、善光寺とも一体となり、また東山魁夷館とも一体となりすばらしい施設をつくっていただけたと思ひました。あらためて感謝を申し上げたいと思ひます。

また、委員の皆様の中では、この 4 年間に本江委員、谷委員がご逝去されました。謹んでお悔みを申し上げます。

皆様方の貴重なご意見をいただく中で、この新しい県立美術館に魂を吹き込んでいただくことができたと思ひています。しかしながらこれからが本番で、4 月 10 日のオープンを控え、松本館長をはじめスタッフが鋭意努力しているところでありますが、私も県知事の立場として、多くの皆様方に愛される、美術愛好家の方達はもとよりすべての皆様、そして県外からお越しいただく皆様、ぜひ多くの皆さんに

お越しいただけるような拠点となるよう県としても力を入れていきたいと思っております。また、観光的な側面のみならず、長野県は学びの県づくりを進めていますので、これからの心豊かな社会を築き上げていく重要な拠点として、大切に育てていきたいと考えています。

委員の皆様方には、この間、たいへんなご支援、ご協力、ご指導いただきましたことを重ねて御礼申し上げますとともに、是非これからも、それぞれのお立場から新しい美術館の発展に一層のお力添えを賜りますよう心からお願い申し上げます、私からのあいさつとさせていただきます。

本日はありがとうございました。そして長い間本当にありがとうございました。

(細野課長補佐)

阿部知事は、公務の重なりがございまして、ここで退席させていただきますので、よろしくお願いいいたします。

それではお手元の次第をご覧ください。本日の出席状況は次第の裏面のとおりでございます。

なお、本日の次第につきましては、主に報告事項が中心でございますので、進行は引き続き私が務めさせていただきますのでよろしくお願いいいたします。

3 議 題

(1) 長野県立美術館（本館）の竣工について

(細野課長補佐)

はじめに長野県立美術館本館の竣工につきまして、株式会社プランツアソシエイツ代表取締役の宮崎様からご報告をいただきたいのでよろしくお願いいいたします。

(株)プランツアソシエイツ宮崎代表)

おかげさまで、去年の12月に建築本体が竣工し、今年3月末までに周辺の整備を仕上げていく予定です。台風19号、その後新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、遅れる可能性があるのではないかと実は内心びくびくしながら現場を見てきました。現場の職員に頑張ってもらって竣工することができました。ここで細かく説明するよりは現場を見てもらって空間を楽しんでいただこうと思います。建築としては、特に城山公園はじめ、善光寺のすばらしい敷地があるので、ランドスケープの中の美術館のあり方をかなり心して設計してきました。外からの美術館の風景も当然ありますし、美術館の中から外を見るにしても、公園や善光寺が見えるよう工夫しました。本当に長い間ご指導をいただきありがとうございました。

(2) 令和3年度の展覧会等について

(細野課長補佐)

続きまして令和3年度の展覧会等について、松本館長からご説明をお願いいたし

ます。

(松本館長)

参考資料により説明

- ・東京藝術大学スーパークローン文化財展と、みんなのアートプロジェクトというクラウドファンディングによる寄付により委託制作された作品のお披露目を4月10日より開催。
- ・6月以降の「めぐりあい JAXA」は宇宙から見た長野県の画像をお見せする展覧会。「つながる美術館宮崎浩とランドスケープ・ミュージアム」は美術館の設計から竣工までを展覧会の形にまとめたもの。それから「Mame Kurogouchi」は長野県出身で2年前にパリコレデビューしたデザイナーで、今回美術館の制服をデザインしていただいた。
- ・この美術館は展示室以外に、オープンギャラリー、レストラン、ミュージアムショップ、アトライブラリー等、公園や図書館と同じように自由にご覧いただける部分が多くあるが、善光寺に一番近いギャラリーではみんなのアートプロジェクトで制作した映像作品の展示などを行う。
- ・8月28日から「森と水と生きる」という展覧会を開催。ここではいろいろな美術館や博物館から作品を借りて、グランドオープンにあたる展覧会を開催。
- ・11月から来年1月にかけて「東山魁夷唐招提寺障壁画展」を開催。
- ・2月からは下諏訪出身の松澤宥さんの回顧展を開催。

(細野課長補佐)

ありがとうございました。ただ今お二方からご説明をいただきましたがご質問があればお願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは委員の皆様から新しい美術館に対する期待ですとか、今までの取組のご感想など、お一人ずついただきたいと存じます。

座席の順で荻原委員からお願いいたします。

(荻原委員)

今日はこちらに少し早めに参りまして、善光寺さんの方から美術館に歩いてきました。10回の会議でいろいろと議論したことがこうして形になって、ランドスケープ・ミュージアムというコンセプトにふさわしいかと拝見しましたが、館が開いてから、これからだと思います。松本館長から事業についてご説明がありましたように、「つなぐ」というキーワードがすごく重要だと思っています。私は上田市立美術館でも働いていますが、ちょうど今、県の事業団の企画で「シンビズム」を開催しています。県立美術館として是非、県内の様々な文化機関等とも連携しつなぐていただきたい、未来に向けてつないでいくということもありますし、ここを拠点に、いろいろなところと広く連携していただければと思います。コロナになってから、美術館が地域とつながるにはどうすればいいか、ということをおぼろげに考え

させられました。常に館に来られる方だけでなく、来られない方にも知っていただき、存在感を示していくことが重要だと思っています。

(中平委員)

教育の立場から関わらせていただき、大変貴重な時間をいただきありがとうございます。今まで信濃美術館を知らなかった子どもたちにも県立美術館を知ってもらいたいと思っています。美術の好きな人、美術に関わる人以外でも関わることができるコンセプトがすばらしいと思います。これは学校教育にも通じていて、学校教育は誰でも同じ教育を学べる内容になっていますので、美術に興味のない子どもたちも来てみたくなるような美術館になっていくのではないかという期待があります。無料で入れるスペース、公園に行くような感覚でアート作品に触れることができる美術館になっていくことに私自身ワクワクします。子どもたちに対しては私からも発信していきたいし、学校の先生たちにも発信して、美術館を利用できたらいいなと思います。

(樋口委員)

子どもたちへの教育に対する影響はもちろん大きいでしょうし、大人の生涯学習の分野においても貢献していただけるものと思っています。トータルとして長野県の文化力になることを期待します。中から外を見ると今は工事中ですが、公園が完成すると全体としてゴージャスになってくるので楽しみにしています。城山公園については今工事を急いでいますが、遅くとも6月の末くらいまでに竣工させて、グラウンドオープンセレモニーができると思っているので、もうしばらくお時間をいただき、楽しみにしていただきたいです。

(福島委員)

本日この日を迎えることができ、心から嬉しく思います。今後大勢の皆様にご来館いただくことにより、美しく山河の信濃の国、長野県の芸術文化の発展に大きく寄与していただくことを期待しております。建設にあたりたいへんご苦勞をいただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(山浦委員)

なかなか立派な美術館が完成したと思いますし、これから50年100年と続いていくのではないかと思います。いずれにしても美術館というのは、その街のレベルの高さを計るようなものではないかと思っています。立派な美術館ができて、これからの中身は館長の腕次第ということであたいへん期待をしています。日本列島の真ん中に光が当たって、日本全国から来ていただけるような企画をどんどん考えていただければと思います。

(若麻績委員)

竣工おめでとうございます。関係の皆様のご苦勞に敬意を表したいです。長野県立美術館となりまして、新聞を見ておりましたら、英語表記がN、A、Mの略称になっていて、これは素晴らしい、「南無」になったのかと思ったところです。偶然だとは思いますが。先ほど本堂からこちらに歩いて来たところですが、本堂の回廊からみた一体の姿は素晴らしいもので、広く開けたところに白い建物が、その先の神社との間に完成しました。逆に、美術館の方から本堂を見る人が増えるのではないかと感じます。ハードとしての魅力、展示物、ソフトとしての魅力で日本中から来てもらいたい、そして、また来てもらえる美術館になってほしいです。善光寺には様々な理由で来られるが、来られる方々はビタミン、栄養をもらって帰ります。美術館もそうだと思いますので、美術館のついでに善光寺に来るようになるのではないかと感じます。御開帳は1年延びましたが、来年に向けて県立美術館と周辺を善光寺としても盛り上げてまいりたいところで、お力添えを賜りながら協働して地域を盛り上げてまいりましょう。

(渡辺委員)

会議に出ささせていただきましたし、また、担当の部署の方々が全県に行っているいろいろな県民の声を聞いて、本日このような形で見させていただき、開放感のあるすばらしい美術館ができたと感じています。前の信濃美術館は信越放送が創立10周年のときに、県立の美術館をぜひ長野県につくろうという運動を、信濃毎日新聞社や県に呼びかけて出来た流れもあり、感慨もひとしおであります。これから私どもがご協力できるのは、いい企画展と一緒に相談して、県民の皆様に見ていただけるように努力してまいりたいです。

(細野課長補佐)

ありがとうございました。本日の議題は以上でございます。
それではここで、増田県民文化部長からご挨拶を申し上げます。

4 部長挨拶

(増田県民文化部長)

ありがとうございました。私はここに来て2年になりますが、長い委員の方には足掛け4年にわたり、いろいろな節目でご指導をいただきありがとうございます。

また、宮崎様には厳しい日程の中でつくっていただきありがとうございました。

私どももこの美術館にいろいろな思いや期待を込めてまいりました。例えば、観光の拠点にしたい、地域の魅力を高めるようなものにしたい、美術の学びの拠点にしたい、美術を志す人や美術界から高い評価をされるものになりたい、多くの人が集まる所になってもらいたい、といろいろ詰め込んできました。

建物はいいものを作ってください、勝負はこれからでございます。今皆様からいただいた言葉はそのとおりで、忘れないようにしなければいけないと思っています。

これからも引き続き、ある意味辛口のサポーターとして、あのとき皆様と考えて

いたことと違うのではないかということがあれば、辛口で言っていただき、これからも支えていただきたいと思います。

長い間ありがとうございました。これからもどうぞよろしく願いいたします。

5 閉 会

(細野課長補佐)

以上をもちまして、信濃美術館整備委員会を閉じさせていただきます。

皆様、どうもありがとうございました。